



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月12日

上場会社名 株式会社インタースペース 上場取引所 東
コード番号 2122 URL <http://www.interspace.ne.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役執行役員社長 （氏名）河端 伸一郎
問合せ先責任者 （役職名）取締役上席執行役員グループCFO （氏名）岩淵 桂太 TEL 03(5339)8680
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 有 （機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	7,330	10.2	592	91.8	685	121.2	415	256.4
2025年9月期第3四半期	6,650	12.0	308	△41.1	309	△40.0	116	△57.7

（注）包括利益 2026年9月期第3四半期 396百万円（275.3%） 2025年9月期第3四半期 105百万円（△59.8%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	66.17	—
2025年9月期第3四半期	18.57	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年9月期第3四半期	11,474	5,844	50.9	931.14
2025年9月期	11,181	5,636	50.4	897.93

（参考）自己資本 2026年9月期第3四半期 5,844百万円 2025年9月期 5,636百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2026年9月期	—	0.00	—		
2026年9月期（予想）				30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,800	10.8	700	88.6	740	85.4	420	103.9	66.91

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期3Q	6,967,200株	2025年9月期	6,967,200株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	690,369株	2025年9月期	690,369株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年9月期3Q	6,276,831株	2025年9月期3Q	6,276,831株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会の開催及び決算資料の入手方法について）

当社は、2026年8月12日（水）に機関投資家・アナリスト向けのオンライン決算説明会をWEB会議システムを用いて実施する予定です。当日使用する決算補足説明資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページ（<https://www.interspace.ne.jp/ir/>）に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	1
(1) 当四半期の経営成績の概況	1
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、中東情勢等の影響を受けた物価上昇がみられるものの、雇用・所得環境の改善等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、地政学的リスクの高まりや為替相場の変動等により、先行は依然不透明な状況が続いております。

当社グループが属するインターネット広告市場は、堅調な拡大が見込まれ、2026年のインターネット広告媒体費は前年比8.3%増の3兆5,840億円まで拡大することが予想されております（株式会社CARTA HOLDING S・株式会社電通・株式会社電通デジタル・株式会社セブテーニ調べ）。このような事業環境において、当社グループは、「顧客提供価値の強化と新たな収益モデルの拡充」「コスト効率による収益性改善」に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は7,330百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益は592百万円（前年同期比91.8%増）、経常利益は685百万円（前年同期比121.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は415百万円（前年同期比256.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<パフォーマンスマーケティング>

当事業は、インターネットを活用した成果報酬型広告であるアフィリエイトサービスを主軸に事業を展開しております。主力の「アクセストレード」では、サービス業関連の一部広告主において広告予算縮小の影響が引き続きみられたことから、前年同期を下回る推移となりました。一方、海外事業においては、拠点集約によるコスト効率化および営業効率化の進展に加え、インドネシアを中心に好調に推移したことで、損益は前年同期から大きく改善いたしました。さらに、マーケティングソリューション事業では、販売チャネルの拡大や新規利用者の獲得強化により会員数が増加しており、引き続きストック収益が拡大しております。

これらの結果、当事業の売上高は5,497百万円（前年同期比28.6%増）、セグメント利益は546百万円（前年同期比107.7%増）となりました。

<メディア>

当事業は、ママの情報プラットフォーム「ママスタ」を主軸に事業を展開しております。主力の「ママスタ」においては、閲覧数の減少により広告収益は前年同期を下回ったものの、課金サービスについては計画を上回る進捗で推移いたしました。一方で、連結子会社の株式会社TAG STUDIOが運営する比較検討メディアにおいては、一部の主要メディアで広告予算縮小の影響を引き続き受けたことから、収益は前年同期を下回る水準で推移いたしました。また、連結子会社の株式会社ユナイトプロジェクトが運営する学習塾ポータルサイト「塾シル」では、広告配信効率の改善により収益性が向上し、赤字幅が縮小するなど、損益は回復傾向で推移いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は1,833百万円（前年同期比22.8%減）、セグメント利益は45百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は9,728百万円となり、前連結会計年度末に比べ252百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が303百万円、売掛金及び契約資産が52百万円増加した一方で、その他が105百万円減少したことによるものであります。固定資産は1,745百万円となり、前連結会計年度末に比べ40百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が75百万円増加した一方で、有形固定資産が28百万円、無形固定資産が6百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は11,474百万円となり、前連結会計年度末に比べ292百万円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は5,562百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円増加いたしました。これは主に買掛金が131百万円、その他が67百万円増加した一方で、賞与引当金が81百万円、関係会社整理損失引当金が38百万円減少したことによるものであります。固定負債は67百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は5,629百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円増加いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は5,844百万円となり、前連結会計年度末に比べ208百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益415百万円および剰余金の配当188百万円により利益剰余金が227百万円が増加した一方、その他有価証券評価差額金が8百万円、為替換算調整勘定が9百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は50.9%（前連結会計年度末は50.4%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年5月11日の「2026年9月期第2四半期（中間期）の連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,594,460	5,897,619
売掛金及び契約資産	3,604,298	3,656,359
その他	287,581	182,188
貸倒引当金	△9,735	△7,552
流動資産合計	9,476,605	9,728,614
固定資産		
有形固定資産	176,302	147,923
無形固定資産		
その他	578,365	571,932
無形固定資産合計	578,365	571,932
投資その他の資産		
その他	950,620	1,026,584
貸倒引当金	△624	△893
投資その他の資産合計	949,995	1,025,691
固定資産合計	1,704,664	1,745,547
資産合計	11,181,269	11,474,161
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,587,979	4,719,401
未払法人税等	111,754	119,315
賞与引当金	190,444	109,379
役員賞与引当金	—	6,000
株主優待引当金	12,420	—
関係会社整理損失引当金	38,638	443
その他	540,473	607,814
流動負債合計	5,481,710	5,562,354
固定負債		
その他	63,405	67,195
固定負債合計	63,405	67,195
負債合計	5,545,115	5,629,550
純資産の部		
株主資本		
資本金	984,653	984,653
資本剰余金	725,000	725,000
利益剰余金	4,571,022	4,798,072
自己株式	△626,270	△626,270
株主資本合計	5,654,406	5,881,456
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,831	16,109
為替換算調整勘定	△43,084	△52,954
その他の包括利益累計額合計	△18,252	△36,844
純資産合計	5,636,153	5,844,611
負債純資産合計	11,181,269	11,474,161

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	6,650,585	7,330,004
売上原価	1,163,848	1,256,842
売上総利益	5,486,737	6,073,161
販売費及び一般管理費	5,177,983	5,480,964
営業利益	308,754	592,197
営業外収益		
為替差益	—	47,870
持分法による投資利益	7,105	44,655
開発負担金収入	5,125	—
その他	6,877	15,657
営業外収益合計	19,108	108,182
営業外費用		
為替差損	14,229	—
投資事業組合運用損	—	10,677
外国源泉税	3,820	4,454
その他	1	—
営業外費用合計	18,052	15,131
経常利益	309,810	685,248
税金等調整前四半期純利益	309,810	685,248
法人税、住民税及び事業税	102,530	218,051
法人税等調整額	90,732	51,842
法人税等合計	193,262	269,894
四半期純利益	116,547	415,354
親会社株主に帰属する四半期純利益	116,547	415,354

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	116,547	415,354
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	729	△8,722
為替換算調整勘定	1,235	△33,832
持分法適用会社に対する持分相当額	△12,804	23,962
その他の包括利益合計	△10,839	△18,592
四半期包括利益	105,707	396,762
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105,707	396,762

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	パフォーマンス マーケティング	メディア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,275,212	1,268,692	5,543,904	1,106,680	6,650,585
セグメント間の内部売上高 又は振替高	720	1,106,680	1,107,400	△1,107,400	—
計	4,275,933	2,375,372	6,651,305	△720	6,650,585
セグメント利益	263,106	45,647	308,754	—	308,754

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、報告セグメントにおいて代理人として処理した取引のうち、他の当事者がセグメント間に存在するため、四半期連結損益計算書上は本人として処理される取引であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	パフォーマンス マーケティング	メディア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,496,066	1,273,284	6,769,351	560,653	7,330,004
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,010	560,653	561,663	△561,663	—
計	5,497,077	1,833,937	7,331,014	△1,010	7,330,004
セグメント利益	546,598	45,599	592,197	—	592,197

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、報告セグメントにおいて代理人として処理した取引のうち、他の当事者がセグメント間に存在するため、四半期連結損益計算書上は本人として処理される取引であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	180,910千円	209,636千円
のれんの償却額	—	2,593